

## 農業ふれあい公園だより

## No.31

2024  
(令和6年)  
February

【岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館】 岩手県北上市飯豊3-110 TEL:0197-68-3975

農業ふれあい公園は、広さ約17畝(約51,500坪)の樹木に囲まれた散策路のある県民の皆様の憩いの場となっています。芝生広場、ひょうたん池、グランドゴルフ場、ゲートボール場、東屋などがあり、芝地では運動会も開催されています。子供たちの遠足や家族でのピクニック、昆虫採集やザリガニとり、ランニングやお散歩など、思い思いの時を過ごせる場となっています。また、春の桜から、初夏のカキツバタ、秋の紅葉、晩秋のドングリ拾い、冬の雪中ウォーキングなど、四季折々の豊かな自然を楽しむことができます。



遊歩道の桜



ふれあい公園の紅葉



農業かがく館



農業れきし館



ドングリ拾い



野外でお弁当



ひょうたん池



暁の星幼稚園様の親子遠足

公園内には岩手の農業を知ることができる農業科学博物館が設置されています。館内には「農業れきし館」と「農業かがく館」の二つの展示室があり、「農業れきし館」には、江戸時代後期から昭和40年頃まで農業や農家生活で実際に使われた用具などが展示され、館内には約4,500点もの資料が収蔵されています。「農業かがく館」には、田んぼの中の世界や、野菜や果物について学べる巨大な冷蔵庫、牛の体のしくみについて楽しく学べるコーナーがあります。また、小展示コーナーでは年に数回の企画展が開催され、ロビーではお雛様、鯉のぼり、七夕飾り、正月飾りなどが展示され、季節感が味わえます。各種体験もあり、毎年多くの園児や小学生、自治会等の皆様が来館し、校外学習や遠足、研修などの場としても利用されています。

# 企画 전시 ポート

## 第89回 暮らしの中の『<sup>どりょうこう</sup>度量衡』 ～長さ、容積、重さをはかってみよう～

令和5年4月19日(水)～8月27日(日)

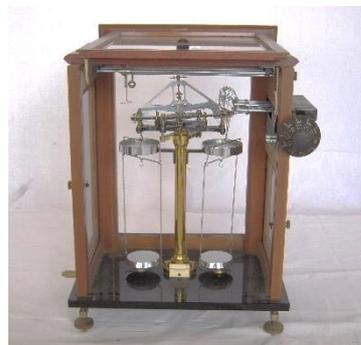
度量衡は、「長さ」「容積」「重さ」などの単位の約束事として、租税・貨幣・土地制度などの確立のため、計量に用いる長さ(度)や容積(量)、重さ(衡)の基準を定めた制度です。

物を交換・販売したり、租税として扱ったりする場合には正確な基準が必要で、長さ、容積、重さをはかり、約束ごとを守って取引や証明がされています。それらの基準となる用具は時代ごとに改正されながら普及し、現在は国際的に統一された度量衡が使用されるようになってきました。

企画展では、枡の容積の移り変わりや、当館で収蔵している昭和の中頃まで使われていた鯨尺や曲尺、台秤や棹秤、一斗枡や一升枡などの「はかる用具」を展示・紹介しました。また、「はかる用具」を使用して、実際に、農作物や家畜などの長さや直径、容積、重さをはかる体験コーナーも設置しました。



各種枡類



化学天秤



台秤

## 第90回 木の実の食文化 ～森の恵みの活用と飢饉など食料不足時に命を救った食べ物～

令和5年9月1日(金)～令和6年3月10日(日)

木の美食は古くは縄文時代からあり、東北地方では縄文中期にはトチやナラの実が主要な植物質食料であったと言われています。八戸市の是川遺跡など縄文時代の中期後半の住居遺跡から発掘された炉からは、当時の人々が「アク抜き」技術をもっていたことが明らかになっています。

木の実は、冷害で畑の作物が実らない年でも採取できることから、厳しい北国の自然の中で、大切な食文化として伝えられてきました。秋になるとドングリ、クルミ、ヤマグリ、トチなどの実を拾っては、補完食料として、また、救荒食や飢饉に備えた保存食、行事食としても利用されてきました。

この企画展では、食料として用いられた木の実のうち、特にドングリなど堅果類を中心にして、その種類のほか、アク抜きの仕方から、加工方法、利用方法などを含めて紹介しています。



採取するための道具



約240年前とされるトチの実と俵



公園でとれるドングリなど

公開デー「農の生け花展」「まゆ糸繰り実演」「まゆ細工体験」「発動機実演」

令和5年9月2日(土)に開催された農業研究センターの公開デーに合わせて、今年度は「農の生け花展」を開催したほか、さらのき工房の松岡冴さんが「まゆ糸繰り実演・展示」を、クラフト作家の藤原淳子さんが「まゆ細工体験」のコーナー設置し、野外では4年ぶりにおうしゅう発動機愛好会の皆さんが発動機を持ち寄って実演し、多くの皆様が来館され、各種体験など楽しんでいただきました。



「農の生け花展」



「まゆ細工体験」



「まゆの糸繰り実演・展示」



「おうしゅう発動機展」



会場風景

植物学者・牧野富太郎の書籍等展示コーナーを設置



令和5年7月から9月まで、農業研究センター図書館の初版「牧野植物図鑑」など、NHK盛岡放送局の協力も得て、博物館ロビーにて展示しました。

漫画家・竹良実先生の作品展示コーナーを設置



令和5年4月から、当博物館とゆかりのある竹良実先生の『植物病理学は明日の君を願う』の作品や小学館から提供された原画等を展示しています。



### 夏休み体験学習会

## 「オリジナルデザインのトートバックを作ろう！」

令和5年8月6日(日)に、さらのき工房を主催する松岡冨先生を講師にお迎えし、染物顔料で好きなデザインを描き、素敵なオリジナルバッグを完成しました。



# 農業科学博物館◇体験イベント

## 冬休み体験学習会 来年の干支のかわいい辰を作ろう！」

令和5年12月24日(日)に、クラフト作家の藤原淳子先生を講師にお迎えし、小学生を対象に色付けしたまゆを使って干支の辰を作りました。みなさん上手に完成し、玄関に飾るそうです。



### 木の実のハンドメイド体験(令和5年10月~令和6年1月)



ふれあい公園内で拾ったドングリや木の实を使ってリースやコマなどを作りました。

### ◇◇◇博物館ご利用案内◇◇◇

【休館日】毎週月曜日(ただし祝日の場合は翌日)

年末年始(12月29日~1月3日)

※当館は、臨時休館する場合があります。開館日・開館時間についてHPに記載していますので、ご確認お願い致します。

【入館料】高校生まで無料

個人 学生 150円/一般 320円

障害者手帳などの交付を受けている方及び介護サービス事業などで入館される場合は、入館料が無料になります。

## 次回開催の企画展

農業研究センター 園芸技術研究部 企画

オリジナル新品種「岩手15号」

を食べてみよう!(仮)

開催期間 3月16日 ~ 5月12日

(予定)